

あわら市をより豊かに!

あわら市議会議員

青柳あつし

市政報告 Vol.016

～市民の皆さまへ～



いつも温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、これまでの4年間の活動の振り返りを、市政報告としてまとめさせていただきました。

私は、議会ごとに毎回、市政報告を発行してまいりました。

これは、議員としての役割、すなわち、皆さまの声を市政に反映させるという使命を果たすためです。皆さまが日々の生活の中で感じておられることを、少しでもまちづくりに活かしていきたい。その思いで続けてきました。

「何かありますか?」と聞くだけでは、本音や本当の課題は見えてきません。だからこそ、私のほうから情報を発信し続けることが必要だと考えました。

ありがたいことに、少しずつ市政報告を手にとってくださる方が増え、私・

青柳あつしの活動を知っていただける機会も広がってきました。そして、多くのご意見やご感想が届くようになりました。これは本当に、皆さまのおかげです。

私は常にこう考えています。

「議会だけでなく、地域こそが本当の情報源」

だからこそ、“歩いて、聞いて、形にする”という姿勢を大切にしてきました。

「お店が少なくなって不便」「人口が減って将来が不安」——そんな声も数多く届いています。こうした市民の皆さまの声を原点に、地域の課題に向き合い、一つひとつ形にしていく決意を新たにしております。

これからも、皆さまとともに、より良いまちづくり、より良いあわら市を目指して取り組んでまいります。

引き続きのあたたかいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

議会で、地域の声を届けてきました！

— 地域経済・教育・福祉・防災・行政改革。分野ごとに提案を重ねて。

この4年間、地域の皆さまから寄せられた声をもとに、議会で提案を行ってきました。まちの未来を少しずつ動かす、その歩みのご紹介です。



- **スマホ教室の提案（4号）**
高齢者の「使い方を教えてほしい」という声から実現へ。
▶「**教えてくれたら使える**にに応えたかった。」
- **ふるさと納税 3.0（9号）**
「地元を応援したい」という声に応え、事業者支援型の新たな制度を提案。
▶「**寄附がまちの力になる形**を目指しました。」
- **BCP（事業継続計画）見直し（9号）**
「災害時、行政はどう動くの？」という住民の声を受け提案。制度整備が進んでいます。
▶「**今からやるべきことをしっかりと。被災してからでは手遅れです。**」
- **EBPM（証拠に基づく政策立案）の導入（15号）**
声を「聞きっぱなし」にせず、データとして政策へ。持続可能なまちづくりの第一歩です。
▶「**本当に反映されてる？**という疑問のない政策に向けて」



- **地域振興券の発行（1号）**
「年末年始に使える支援があれば」という声から、早期発行を提案。実現につながりました。
▶「**すぐ使える支援が経済を動かすと感じました。**」
- **教育とICT化（2号）**
部活動の地域移行やタブレット学習を提案。現場の混乱や保護者の不安に向き合いました。
▶「**学校の戸惑いの声**を届けました。」
- **市内調達の推進（3号）**
「もっと地元で仕事を」との声から、市内業者優先の調達を提案。
▶「**地元事業者の声**に背中を押されました。」



● 議場での活動まとめ

分 野	主な提案（市政報告号数）
地域経済	地域振興券の早期発行（1号） 企業誘致支援（11号） ふるさと納税 3.0 提案（9号）
教育・子育て	部活動地域移行（2号） タブレット学習推進（2号） デジタル教育格差の解消（11号）
福祉・移動支援	デマンドタクシーの利便性向上（10号） 認知症予防の普及（14号）
防災・減災	BCP 見直しと更新の提案（9号）
行政改革	EBPM 導入（15号） 行政施設の統廃合と資産共有化（12号）
デジタル化	スマホ教室提案（4号） 議会タブレット化（11・12号） SNS 発信（7号）
市民参加	空き家対策（13号） 子どもの居場所づくり（8号） 子ども議会（14号）

市民の皆さまとともに歩み、形にしてきた4年！

— 現場で聞き、動き、つないできた取り組み

議会の外でも、地域の現場に足を運び、市民の皆さまとともに課題を見つけ、行動してきました。ここでは、その歩みの一部をご紹介します。



● 関東・東北での継続的な PR 活動

あわら市の魅力を伝えるため、関東圏を中心に PR を継続。東京都渋谷では、商工会・観光協会・自治体等を巻き込んだ大規模なあわら市の PR イベントを実現しました。

▶「外に出ないと伝わらないという感覚を大切にしています。」



● 教育と地域をつなぐ活動

PTA 活動や新しい学校 HP 作成の監修、子ども議会の実施を通じ、子どもたちの声も市政に届く仕組みを整えました。

▶「子どもも地域の主役という想いを形にしました。」

● 実証と挑戦の現場から

高齢者向けスマホ教室や、地域通貨はぴコインの導入など、市民参加型の試みを重ねてきました。

▶「やってみようを後押しするのが私の役割です。」



● 健康・防災・福祉への連携

全国初となる民間連携の熱中症対策や、能登半島地震の復興支援にも参加。行政だけでなく、多様な協働が必要と実感しました。

▶「現地で汗をかくことで、見えるものがあります。」

● 議会の仕組みづくりにも貢献

議会評価モデル、緊急対応マニュアル、オンライン運営の整備など、見えにくい部分から議会の土台を強化しました。

▶「いざという時にも機能する議会を目指し、改革を進めています。」



● 市民との取り組みまとめ

分類	主な活動内容
PR・誘致	関東～東北での継続 PR 活動、渋谷での大規模イベント開催
教育・地域	金津小 PTA 会長、学校 HP 統一監修、こども議会の実施
実証実験	スマホ教室、はぴコイン活用など住民参加型の試み
健康・福祉	熱中症予防（商工会＋企業連携）全国初のモデル構築
国際交流	文化の輸出・交流、海外との地域連携の構築
DX 推進	AI 講習・DX 講師、議会タブレット導入・情報発信支援
防災	能登復興支援への現地参加、BCP 提案の下支え
経済活性	あわらサンドボックス設立、地域内経済循環の試行
議会改革	評価モデル、緊急対応・オンラインマニュアル整備

「聞く、伝える、動かす。」

これからも、皆さまの声を受け止め、現場に立ち、仕組みを動かす。その姿勢を変えずに、歩みを続けていきます。



地域の声に支えられて。これからも変わらぬ姿勢で。

この4年間の変化でいちばん印象的なのは、なんといっても住民の皆さまから声をかけてもらえるようになったことです。

たとえば市政報告を配っているとき。気づけば「いつも見てるよ」「頑張ってるね」と、笑顔で声をかけてくださる方が増えました。その何気ない一言が、私の背中を何度も押ししてくれたことは間違いありません。皆さまの小さなお声かけが、私にとって何よりの原動力となっています。



「聞くこと」「伝えること」——このふたつは、これからも決して変えることなく、私が大切にしたいことです。どれだけ時代や仕組みが変わっても、まちの問題は現場にある。だから私は歩き、耳を傾け、言葉を届け続けたいのです。

特に子どもたちとの関わりには、思い入れがあります。私にも子どもがおり、我が子を育てながら、地域の教育環境を見つめる機会も多くありました。

こども議会では、1年がかりで準備を重ね、動画再生数で全国一位を記録するという、想像以上の反響をいただきました。「子どもにもまちを動かす力がある」——そう実感できた瞬間でした。

地域の声が、まちを動かし、未来をつくる。

その確信とともに、これからも私は歩みを止めず、皆さまの声に耳を傾け、また、皆さまに市政を伝え続けてまいります。

なぜ、市政報告を続けているのか

議会ごとにお届けしている市政報告は、今回で通算16号となりました。

歩いて配っていると、「いつもありがとう」「読んでますよ」と声をかけていただけることが増え、本当に励みになっております。

最近、“歩いて配ることで、届く言葉がある”と、より強く実感するようになりました。情報はインターネットで簡単に見られる時代となりましたが、紙には読んだ人の印象に残る強さがあります。冊子を手にとっていただき、市政を身近に感じていただくことで、皆さまの声も議会に届きやすくなります。

これからも、市政を皆さまにお伝えし、また皆さまの声を市政に届けるために、市政報告を発行し続けてまいります。

みなさんのご意見をお聞かせください。

- 地域のお悩み
- 子育て支援 ● 地域活性化
- 人口減少



メール・FAXは24時間受付
mail : atsushi@a-oyagi.com
FAX : 0776-73-5539
TEL : 0776-73-0313